



早く再会して 喜びの大泣きをしたい

横田 早紀江

第19回めの拡大祈禱会を開かせていただき、心から感謝します。

今日は一つ、うれしいニュースがあります。主人が11月4日に、私の所属する中野島キリスト教会の國分先生の司式によって、洗礼を受けさせていただきました。

新潟で、めぐみの事件があった時に、私たちは気が狂いそうになりながら街をさ迷い歩いて叫んでいましたけれども、いろいろな宗教の人が家に来ていました。その時からもう主人は、「神も仏もあるものか!」「どんな宗教でも、そんなものは絶対ないんだから、自分が強くなければダメなんだ!」と言っていました。

キリスト教のキの字でも言ったら、ものすごい勢いで怒っていたようなお父さんだったので、私が教会や集会に通い、たくさんのことを学ばせていただくようになって、そのこと自体に対しては反対しませんでしたので、ありがたかったと思います。

その後も長い長い間、信仰を拒んできた主人ですが、國分先生が、「神様を受け入れますか?」と聞かれた時、すなおにこやかに返事をし、滴礼で受洗させていただきました。体が弱っていますので、特別に、家でしてくださ

たのです。

私にとっては何か大きな爆発でも起きたような気分でしたけれど、こんな不思議なことがあるのだと感じ、感謝の思いでいっぱいでした。

私が教会に行き始めた頃から、マクダニエル宣教師と奥さんは、「祈ってますよ、祈ってますよ!」とずっと言ってくださっていました。今はもう天に召されましたけれど、主人の受洗を天国で喜んでくださっていることでしょう。

また、11月6日には来日中のアメリカのトランプ大統領と、拉致被害者の家族会が会う機会が与えられました。こちらからは有本さん、飯塚さん、私、それから帰国者として曾我ひとみさんが初めて参加され、4人が短くお話をしました。私が、萩に行った時にめぐみや息子たちと撮った写真を持っていましたら、トランプさんが「ちょっと、それを見せてください」と言われました。お渡ししたら、「はーっ」と、もう何とも言えないというようすで眺められ、奥様にも見せられました。そして、じっとこちらを見て、「頑張りなさ



國分広士牧師により受洗する横田滋さん

い」という感じの顔をされ、歯を食いしばり、厳しい表情の後でこやかな笑みを浮かべられ、非常に印象深く感じました。

現在私は、思うように教会にも通えず、前のようにゆっくり聖書を読んでみことばを吸収することもできず、非常につらい中にいますが、いつも神様に祈り求めています。そして早く、めぐみや全部の被害者の方と再会して、喜びの大泣きをしたいと思います。

今日は、詩篇8篇が示されていますので、一部をお読みします。

「私たちの主よ あなたの御名は全地にわたり なんと力に満ちていることでしょう」(1節)、「人とは何ものなのでしょう。あなたが心に留められるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは」(4節)
(2017年11月9日 拡大祈禱会より)